

## 目 次

### 文化経済学会<日本>2022年度東京大会

#### 《凡例》

各発表の討論者については、討論者氏名末尾の上付き数字と発表タイトル末尾の上付き数字を参照してください。

表示例)

①-A 文化価値と文化財 ●座長：阪本 崇 ●討論者：清水 裕次<sup>1</sup>

タイトル	発表者
文化財まちづくりにおける矜持遺産の布置と市民トラスト文化財の提案を通した持続可能なまちづくりに関する研究 <sup>1</sup>	藤原 恵洋

#### 分科会1

##### 1-A 文化政策（2204講義室）

●座長：小林 真理 ●討論者：熊田 知晃<sup>1</sup>／高島 知佐子<sup>2</sup>／熊倉 純子<sup>3</sup>

タイトル	発表者	頁
地域住民の認識する芸術文化事業の価値に関する探索的分析：霧島国際音楽祭に対する観客のイメージ分析を中心に <sup>1</sup>	馬場 武	9
文化経済学における第3の市場—家元茶道圏の分析より— <sup>2</sup>	太田 直希	11
企業の芸術支援とパブリック・リレーションズ—アートプレイスの類型化とその役割— <sup>3</sup>	川北 真紀子	13

##### 1-B 文化教育（2205講義室）

●座長：古賀 弥生 ●討論者：後藤 和子<sup>1</sup>／川井田 祥子<sup>2</sup>／吉澤 弥生<sup>3</sup>

タイトル	発表者	頁
少子化とコロナ後を見据えた工芸人材の育成環境：専門校生へのアンケート調査より <sup>1</sup>	前田 厚子	16
障害児者のための音楽教育センターの創設—滋賀大学音楽教育支援センター「おとさば」の事例をもとに <sup>2</sup>	林 瞳	18
新型コロナ禍におけるアートプロジェクトを支えるボランティア/サポートーー運営に関する考察 <sup>3</sup>	藤原 旅人	20

## 1-C 会員企画セッション (2203 講義室)

タイトル	登壇者	頁
持続可能な文化の将来：コロナウィルスと文化政策の再構築 英国との国際共同研究調査より	河島 伸子／ 八木 匡／ 佐野 直哉	23

## 分科会 2

### 2-A 文化産業 (1) (2204 講義室)

●座長：河島 伸子 ●討論者：井口 典夫<sup>1</sup>／河島 伸子<sup>2</sup>／金 善美<sup>3</sup>／田中 康之<sup>4</sup>

タイトル	発表者	頁
クリエイティブ産業における映像制作者の第一次創作活動の創造性について —デザイン思考に着目した日本のTV番組制作を事例対象に— <sup>1</sup>	竹内 宏文	26
伝統工芸産業における海外輸出の意義—刃物産地の事例— <sup>2</sup>	高島 知佐子／ 後藤 和子	28
創造的価値による制度的装置の構築の可能性—加賀友禅を中心として— <sup>3</sup>	荒木 由希	30
データクラスタリング・マイニングに基づく映像作品と地域活動との関係性分析 <sup>4</sup>	山本 智葉	32

### 2-B まちづくり (2205 講義室)

●座長：野田 邦弘 ●討論者：菅野 幸子<sup>1</sup>／太下 義之<sup>2</sup>／古池 嘉和<sup>3</sup>

タイトル	発表者	頁
寺院宿坊を活用したアーティスト・イン・レジデンス (AIR) の可能性 —地域活性化の観点から— <sup>1</sup>	和栗 隆史	35
テロワール產品の構築と観光振興：サヴォワ地方のチーズをめぐって <sup>2</sup>	森崎 美穂子	37
ロケ地における観光振興の実態と持続可能な観光政策のあり方に関する研究 —滋賀県における映画ロケ地を中心事例として— <sup>3</sup>	古関 和典	39

## 2-C 文化施設 (2105 講義室)

●座長：川本 直義 ●討論者：萩原 雅也<sup>1</sup>／勝又 英明<sup>2</sup>／中嶋 大輔<sup>3</sup>／佐藤 良子<sup>4</sup>

タイトル	発表者	頁
日本の歴史的建造物の再生における文化コンテンツの創造について考察 —石川県金沢市民芸術村のドラマ工房・ミュージック工房・アート工房のアクションプランの実態に注目して— <sup>1</sup>	瞿 芳馨	42
築後 27 年木造公共ホール〈中津江ホール〉の解体計画をめぐる旧守的ハコモノ行政の批判的検討～日田市中津江ホールをめぐって～ <sup>2</sup>	藤原 恵洋	44
社会的投資を活用した官民連携によるスポーツ施設整備の一考察 —熊本県フットボールセンターを事例として— <sup>3</sup>	内藤 正和／ 米村 真悟／ 横山 勝彦	46
オルタナティブスペースを振り返る～札幌の事例から～ <sup>4</sup>	加藤 康子	48

## 分科会 3

### 3-A 文化産業 (2) (2204 講義室)

●座長：増淵 敏之 ●討論者：松永 伸太朗<sup>1</sup>／三田 知実<sup>2</sup>／松本 淳<sup>3</sup>／岩崎 達也<sup>4</sup>

タイトル	発表者	頁
アニメと日本型オープンイノベーションの可能性：ガンダムファクトリー横浜の事例から <sup>1</sup>	飯塚 まり	51
漢服の価格について <sup>2</sup>	陳 淑娟	53
映画産業の「中間」考察：デジタル化以降の映画配給モデルの変容 <sup>3</sup>	森下 詩子	55
フジテレビの映画製作事業における人的、組織的経営資源の多層的構築 - 1995 年から 2010 年にかけて - <sup>4</sup>	金井 秀介	57

### 3-B 文化統計 (2205 講義室)

●座長：阪本 崇 ●討論者：朝倉 由希<sup>1</sup>／片岡 栄美<sup>2</sup>／勝浦 正樹<sup>3</sup>／牧 和生<sup>4</sup>

タイトル	発表者	頁
日本の文化創造産業の統計整備に向けた学術報告 一民間公益文化セクターである大都市圏のライブハウス・クラブへの COVID-19 の影響分析に関する定性的調査に基づいて— <sup>1</sup>	池田 真利子／ 柿沼 由樹／ 熊谷 美咲	60
文化的活動への参加と世帯収入・個人収入 <sup>2</sup>	勝浦 正樹	62
社会的文脈の異なる提示条件がもたらす心的影響の差異に関する研究 <sup>3</sup>	牧 和生	64
劇団公演の経年データ分析の試み <sup>4</sup>	米屋 尚子／ 坂部 裕美子	66

### 3-C 文化価値（2105 講義室）

●座長：八木 匡 ●討論者：田代 洋久<sup>1</sup>／宮崎 刀史紀<sup>2</sup>／伊吹 勇亮<sup>3</sup>

タイトル	発表者	頁
地域おこし協力隊員によるコミュニティ出会い直しの場の創出と課題～北海道美唄市南美唄地区における「南美縁会」がもたらす文脈・矜持・紐帯の再生の検討～ <sup>1</sup>	岩井 千華	69
花街文化の価値 一コロナ下の京都「おおきに財団」の取り組みを中心に— <sup>2</sup>	中原 逸郎	71
企業政策によるスポーツ文化の保護の指針に向けて —株式公開の視点から— <sup>3</sup>	有吉 忠一／ 横山 勝彦	73

\*発表内容は予告なく変更されることがございます